

委託事業実施内容報告書

平成23年度「生活者としての外国人」のための日本語教育事業

【日本語教室の設置運営】

受託団体名 社会福祉法人 青丘社

1. 事業の趣旨・目的

滞日歴の浅い児童生徒を対象として、日本語サポートをおこなう。学校生活になじむとともに、「識字」の概念を援用し日本語をツールとして、自分を発見し豊かに表現することを目指す。具体的には作文や発表会、新聞の作成を通して、表現力を発展させていく。小学校高学年以上の児童生徒に関しては、母語を媒介語として活用することを企図する。

2. 運営委員会の開催について

【概要】

開催日時	開催場所	出席者	議題	会議の概要
6月24日	多文化共生センターかわさき	山田義弥 金澤幸男 齋藤和美 星野延平 橋本英之 吉谷武志 多賀重久 原千代子	滞日歴の浅い外国につながる子どもたちの現状と課題	・高校進学では面接における日本語力がものをいう ・自治体は日本語支援と進学を結びつける視点をつくっていない ・国際学級をつくれない学校における子どものフォローはいまだに課題である ・労働力としてみこまれる階層の子どもたちの生きる力としての日本語という視点が重要である
10月28日	多文化共生センターかわさき	藤中大洋 山田義弥 金澤幸男 星野延平 富谷玲子 塩原良和 多賀重久 原千代子	滞日歴の浅い外国につながる子どもたちの進路について	・年間48時間の日本語指導枠だけでは中学生の高校進学は困難な場合が多い ・取り組みを知らない当事者、学校にどのように情報を届けるべきか ・行政の責任としてこの問

				題を議論する公的な場をつくる ・高校生の読む力がないことが就職率にも反映しているようだ ・高校から先の部分のケアの見通しが立っていない
3月16日	多文化共生センターかわさき	金澤幸男 齋藤和美 星野延平 橋本英之 吉谷武志 多賀重久 原千代子	滞日歴の浅い外国につながる子どもたちの進路についてⅡ	・定時制高校に全員受かった。 ・通常の日本語指導の枠組みだけでは十分ではない ・文章題ができないという子どもが多い ・保護者の日本語情報へのアクセスも大きな課題である ・高校入学後やめてしまうケースが多い。入学後も高校で引き続き学習をフォローする必要がある。 ・JSL カリキュラムをより広範に適用すべきだ

【写真】

3. 日本語教室の開催について

- (1) 講座名 滞日歴の浅い児童生徒を対象とした「識字」としての日本語教室
- (2) 開催場所 多文化共生センターかわさき
- (3) 学習目標

本教室の目標は、参加する子どもの、(1)「読む・書く・聞く・話す」の基礎能力の向上、(2)教科の基礎的な知識の理解、(3)将来の見通しを立てる力の向上、の3点である。学習は、子どもの滞日年数や、支援者による日本語能力の見立てに基づいて、以下の3グループに分けて進めた。

- ①初期日本語学習中心グループ
- ②日本語学習—教科学習横断グループ

③教科学習中心グループ

(4) 使用した教材・リソース

支援者が作成したワークシート、教科(算数、数学、漢字、英語)のドリル、学校の教科書、日本語の教科書(『日本語学級(1)(2)』(凡人社)『進学する人のための日本語初級読み文』(日本学生支援機構 東京日本語教育センター))

(5) 受講者の募集方法

運営委員会の構成メンバーである総合教育センター、市教委川崎区教育担当、川崎区内の小中学校、川崎区校長会などにおけるチラシの配布。地域における外国人ネットワークによる口コミ。

(6) 受講者の総数 小学生 10 人 中学生 14 人

(出身・国籍別内訳 小学生:中国 4 人 韓国 2 人 フィリピン 3 人 ロシア 1 人

中学生:中国 8 人 フィリピン 2 人 ネパール 2 人 ロシア 1 人 韓国 1 人)

(7) 開催時間数(回数) 128 時間(全 32 回)

(8) 日本語教室の具体的内容

回	開催日時	時間数	受講者数	国籍・母語(人)	教授者・補助者人数	内容
1	5月28日(土)					
	10:00-12:00 (小学生対象)	2 時間	6人	中国・中国語(2人) 韓国・韓国語(2人) フィリピン・タガログ語(1人) ロシア・ロシア語(1人)	教授者 2 人 補助者 1 人	初期日本語学習 教室作成ワークシート使用
	13:00-15:00 (中学生対象)	2 時間	13人	中国・中国語(8人) フィリピン・タガログ語(1人) ネパール・ネパール語(2人) ロシア・ロシア語(1人) 韓国・韓国語(1人)	教授者 2 人 補助者 1 人	初期日本語学習 教室作成ワークシート使用
2	6月4日(土)					
	10:00-12:00 (小学生対象)	2 時間	7人	中国・中国語(3人) 韓国・韓国語(2人) フィリピン・タガログ語(1人) ロシア・ロシア語(1人)	教授者 2 人 補助者 1 人	初期日本語学習 教室作成ワークシート使用

	13:00-15:00 (中学生対象)	2 時 間	12人	中国・中国語(7人) フィリピン・タガログ語 (1人) ネパール・ネパール語 (2人) ロシア・ロシア語(1人) 韓国・韓国語(1人)	教授者 2 人 補助者 1 人	初期日本語学 習 教室作成ワー クシート使用
3	6月18日(土)					
	10:00-12:00 (小学生対象)	2 時 間	5人	中国・中国語(1人) 韓国・韓国語(2人) フィリピン・タガログ語 (1人) ロシア・ロシア語(1人)	教授者 2 人 補助者 1 人	初期日本語学 習 教室作成ワー クシート使用
	13:00-15:00 (中学生対象)	2 時 間	12人	中国・中国語(7人) フィリピン・タガログ語 (1人) ネパール・ネパール語 (2人) ロシア・ロシア語(1人) 韓国・韓国語(1人)	教授者 2 人 補助者 1 人	初期日本語学 習 教室作成ワー クシート使用
4	6月25日(土)					
	10:00-12:00 (小学生対象)	2 時 間	9人	中国・中国語(4人) 韓国・韓国語(2人) フィリピン・タガログ語 (2人) ロシア・ロシア語(1人)	教授者 2 人 補助者 1 人	ゲーム大会
	13:00-15:00 (中学生対象)	2 時 間	8人	中国・中国語(4人) フィリピン・タガログ語 (1人) ネパール・ネパール語 (2人) 韓国・韓国語(1人)	教授者 2 人 補助者 1 人	初期日本語学 習 教室作成ワー クシート使用
5	7月2日(土)					
	10:00-12:00 (小学生対象)	2 時 間	8人	中国・中国語(4人) 韓国・韓国語(2人) フィリピン・タガログ語	教授者 2 人 補助者 1 人	初期日本語学 習・教科内容を 題材にした日

				(2人)		本語学習 学校の教科書・ 教室作成ワー クシート使用
	13:00-15:00 (中学生対象)	2 時 間	13人	中国・中国語(8人) フィリピン・タガログ語 (1人) ネパール・ネパール語 (2人) ロシア・ロシア語(1人) 韓国・韓国語(1人)	教授者 2 人 補助者 1 人	初期日本語学 習・教科内容 を題材にした 日本語学習 教科のドリル・ 日本語の教科 書・教室作成 ワークシート使 用
6	7月9日(土)					
	10:00-12:00 (小学生対象)	2 時 間	8人	中国・中国語(4人) 韓国・韓国語(2人) フィリピン・タガログ語 (2人)	教授者 2 人 補助者 1 人	初期日本語学 習・教科内容を 題材にした日 本語学習 学校の教科書・ 教室作成ワー クシート
	13:00-15:00 (中学生対象)	2 時 間	12人	中国・中国語(7人) フィリピン・タガログ語 (1人) ネパール・ネパール語 (2人) ロシア・ロシア語(1人) 韓国・韓国語(1人)	教授者 2 人 補助者 1 人	初期日本語学 習・教科内容を 題材にした 日本語学習 教科のドリル・ 日本語の教科 書・教室作成 ワークシート使 用
7	7月16日(土)					
	10:00-12:00 (小学生対象)	2 時 間	9人	中国・中国語(4人) 韓国・韓国語(2人) フィリピン・タガログ語 (2人) ロシア・ロシア語(1人)	教授者 2 人 補助者 1 人	初期日本語学 習・教科内容を 題材にした日 本語学習 学校の教科書・

						教室作成ワークシート
	13:00-15:00 (中学生対象)	2 時 間	12人	中国・中国語(7人) フィリピン・タガログ語(1人) ネパール・ネパール語(2人) ロシア・ロシア語(1人) 韓国・韓国語(1人)	教授者2人 補助者1人	初期日本語学習・教科内容を題材にした日本語学習教科のドリル・日本語の教科書・教室作成ワークシート使用
8	7月25日(土)					
	10:00-12:00 (小学生対象)	2 時 間	7人	中国・中国語(3人) 韓国・韓国語(2人) フィリピン・タガログ語(1人) ロシア・ロシア語(1人)	教授者2人	初期日本語学習・教科内容を題材にした日本語学習学校の教科書・教室作成ワークシート
	13:00-15:00 (中学生対象)	2 時 間	12人	中国・中国語(8人) ネパール・ネパール語(2人) ロシア・ロシア語(1人) 韓国・韓国語(1人)	教授者2人 補助者1人	初期日本語学習・教科内容を題材にした日本語学習教科のドリル・日本語の教科書・教室作成ワークシート使用
9	8月6日(土)					
	10:00-12:00 (小学生対象)	2 時 間	5人	中国・中国語(1人) 韓国・韓国語(2人) フィリピン・タガログ語(2人)	教授者2人 補助者1人	初期日本語学習・教科内容を題材にした日本語学習学校の教科書・教室作成ワー

						クシート
	13:00-15:00 (中学生対象)	2 時 間	6人	中国・中国語(5人) フィリピン・タガログ語 (1人)	教授者 2 人 補助者 1 人	初期日本語学 習・教科内容 を題材にした 日本語学習 教科のドリル・ 日本語の教科 書・教室作成 ワークシート使 用
10	8月20日(土)					
	10:00-12:00 (小学生対象)	2 時 間	8人	中国・中国語(4人) 韓国・韓国語(2人) フィリピン・タガログ語 (2人)	教授者 2 人 補助者 1 人	初期日本語学 習・教科内容を 題材にした日 本語学習 学校の教科書・ 教室作成ワー クシート
	13:00-15:00 (中学生対象)	2 時 間	12人	中国・中国語(7人) フィリピン・タガログ語 (1人) ネパール・ネパール語 (2人) ロシア・ロシア語(1人) 韓国・韓国語(1人)	教授者 2 人 補助者 1 人	サマーパーテ ィー
11	8月27日(土)					
	10:00-12:00 (小学生対象)	2 時 間	8人	中国・中国語(4人) 韓国・韓国語(2人) フィリピン・タガログ語 (2人)	教授者 2 人 補助者 1 人	夏の遠足
	13:00-15:00 (中学生対象)	2 時 間	12人	中国・中国語(7人) フィリピン・タガログ語 (1人) ネパール・ネパール語	教授者 2 人 補助者 1 人	初期日本語学 習・教科内容 を題材にした 日本語学習

				(2人) ロシア・ロシア語(1人) 韓国・韓国語(1人)		教科のドリル・ 日本語の教科 書・教室作成 ワークシート使 用
12	9月3日(土)					
	10:00-12:00 (小学生対象)	2 時 間	8人	中国・中国語(4人) 韓国・韓国語(2人) フィリピン・タガログ語 (2人)	教授者 2 人 補助者 1 人	教科内容を題 材にした日本 語学習 学校の教科書・ 教室作成ワー クシート
	13:00-15:00 (中学生対象)	2 時 間	12人	中国・中国語(7人) フィリピン・タガログ語 (1人) ネパール・ネパール語 (2人) ロシア・ロシア語(1人) 韓国・韓国語(1人)	教授者 2 人	教科内容を題 材にした日本 語学習・高校入 試に向けた作 文指導 教科のドリル・ 日本語の教科 書・教室作成ワ ークシート使用
13	9月10日(土)					
	10:00-12:00 (小学生対象)	2 時 間	5人	中国・中国語(1人) 韓国・韓国語(2人) フィリピン・タガログ語 (2人)	教授者 2 人 補助者 1 人	教科内容を題 材にした日本 語学習 学校の教科書・ 教室作成ワー クシート
	13:00-15:00 (中学生対象)	2 時 間	8人	中国・中国語(6人) ネパール・ネパール語 (2人)	教授者 2 人 補助者 1 人	教科内容を題 材にした日本 語学習・高校入 試に向けた作 文指導 教科のドリル・ 日本語の教科 書・教室作成

						ワークシート使用
14	9月17日(土)					
	10:00-12:00 (小学生対象)	2時間	5人	中国・中国語(1人) 韓国・韓国語(2人) フィリピン・タガログ語(2人)	教授者2人 補助者1人	教科内容を題材にした日本語学習 学校の教科書・教室作成ワークシート
	13:00-15:00 (中学生対象)	2時間	12人	中国・中国語(7人) フィリピン・タガログ語(1人) ネパール・ネパール語(2人) ロシア・ロシア語(1人) 韓国・韓国語(1人)	教授者2人 補助者1人	教科内容を題材にした日本語学習・高校入試に向けた作文指導 教科のドリル・日本語の教科書・教室作成ワークシート使用
15	9月24日(土)					
	10:00-12:00 (小学生対象)	2時間	8人	中国・中国語(4人) 韓国・韓国語(2人) フィリピン・タガログ語(2人)	教授者2人 補助者1人	ゲーム大会
	13:00-15:00 (中学生対象)	2時間	10人	中国・中国語(7人) フィリピン・タガログ語(1人) ネパール・ネパール語(2人)	教授者2人 補助者1人	教科内容を題材にした日本語学習・高校入試に向けた作文指導 教科のドリル・日本語の教科書・教室作成ワークシート使用
16	10月1日(土)					

	10:00-12:00 (小学生対象)	2 時 間	5人	中国・中国語(4人) フィリピン・タガログ語 (1人)	教授者 2 人 補助者 1 人	教科内容を題 材にした日本 語学習 学校の教科書・ 教室作成ワー クシート
	13:00-15:00 (中学生対象)	2 時 間	8人	中国・中国語(7人) 韓国・韓国語(1人)	教授者 2 人 補助者 1 人	教科内容を題 材にした日本 語学習・高校入 試に向けた作 文指導 教科のドリル・ 日本語の教科 書・教室作成 ワークシート使 用
17	10月8日(土)					
	10:00-12:00 (小学生対象)	2 時 間	8人	中国・中国語(4人) 韓国・韓国語(2人) フィリピン・タガログ語 (2人)	教授者 2 人 補助者 1 人	教科内容を題 材にした日本 語学習 学校の教科書・ 教室作成ワー クシート
	13:00-15:00 (中学生対象)	2 時 間	10人	中国・中国語(7人) フィリピン・タガログ語 (1人) ネパール・ネパール語 (2人)	教授者 2 人 補助者 1 人	教科内容を題 材にした日本 語学習・高校入 試に向けた作 文指導 教科のドリル・ 日本語の教科 書・教室作成 ワークシート使 用
18	10月15日(土)					

	10:00-12:00 (小学生対象)	2 時 間	8人	中国・中国語(4人) 韓国・韓国語(2人) フィリピン・タガログ語 (2人)	教授者 2 人 補助者 1 人	教科内容を題 材にした日本 語学習 学校の教科書・ 教室作成ワー クシート
	13:00-15:00 (中学生対象)	2 時 間	11人	中国・中国語(7人) フィリピン・タガログ語 (1人) ネパール・ネパール語 (2人) 韓国・韓国語(1人)	教授者 2 人 補助者 1 人	教科内容を題 材にした日本 語学習・高校入 試に向けた作 文指導 教科のドリル・ 日本語の教科 書・教室作成 ワークシート使 用
19	10月22日(土)					
	10:00-12:00 (小学生対象)	2 時 間	6人	中国・中国語(2人) 韓国・韓国語(2人) フィリピン・タガログ語 (2人)	教授者 2 人 補助者 1 人	ゲーム大会
	13:00-15:00 (中学生対象)	2 時 間	12人	中国・中国語(7人) フィリピン・タガログ語 (1人) ネパール・ネパール語 (2人) ロシア・ロシア語(1人) 韓国・韓国語(1人)	教授者 2 人 補助者 1 人	教科内容を題 材にした日本 語学習・高校入 試に向けた作 文指導 教科のドリル・ 日本語の教科 書・教室作成 ワークシート使 用
20	10月29日(土)					
	10:00-12:00 (小学生対象)	2 時 間	5人	中国・中国語(4人) フィリピン・タガログ語 (1人)	教授者 2 人	教科内容を題 材にした日本 語学習 学校の教科書・

						教室作成ワークシート
	13:00-15:00 (中学生対象)	2 時 間	7人	中国・中国語(4人) フィリピン・タガログ語 (1人) ネパール・ネパール語 (2人)	教授者2人 補助者1人	教科内容を題材にした日本語学習・高校入試に向けた作文指導 教科のドリル・日本語の教科書・教室作成ワークシート使用
21	11月5日(土)					
	10:00-12:00 (小学生対象)	2 時 間	8人	中国・中国語(4人) 韓国・韓国語(2人) フィリピン・タガログ語 (2人)	教授者2人 補助者1人	教科内容を題材にした日本語学習 学校の教科書・教室作成ワークシート
	13:00-15:00 (中学生対象)	2 時 間	11人	中国・中国語(6人) フィリピン・タガログ語 (1人) ネパール・ネパール語 (2人)ロシア・ロシア語 (1人) 韓国・韓国語(1人)	教授者2人 補助者1人	教科内容を題材にした日本語学習・高校入試に向けた作文指導・面接指導 教科のドリル・日本語の教科書・教室作成ワークシート使用
22	11月12日(土)					
	10:00-12:00 (小学生対象)	2 時 間	8人	中国・中国語(4人) 韓国・韓国語(2人) フィリピン・タガログ語 (2人)	教授者2人 補助者1人	教科内容を題材にした日本語学習 学校の教科書・

						教室作成ワークシート
	13:00-15:00 (中学生対象)	2 時 間	12人	中国・中国語(7人) フィリピン・タガログ語(1人) ネパール・ネパール語(2人)ロシア・ロシア語(1人) 韓国・韓国語(1人)	教授者2人 補助者1人	教科内容を題材にした日本語学習・高校入試に向けた作文指導・面接指導 教科のドリル・日本語の教科書・教室作成ワークシート使用
23	11月25日(土)					
	10:00-12:00 (小学生対象)	2 時 間	7人	中国・中国語(4人) 韓国・韓国語(2人) フィリピン・タガログ語(1人)	教授者2人 補助者1人	ゲーム大会
	13:00-15:00 (中学生対象)	2 時 間	10人	中国・中国語(7人) ネパール・ネパール語(2人)ロシア・ロシア語(1人)	教授者2人 補助者1人	教科内容を題材にした日本語学習・高校入試に向けた作文指導・面接指導 教科のドリル・日本語の教科書・教室作成ワークシート使用
24	12月3日(土)					
	10:00-12:00 (小学生対象)	2 時 間	7人	中国・中国語(4人) 韓国・韓国語(2人) フィリピン・タガログ語(1人)	教授者2人 補助者1人	教科内容を題材にした日本語学習 学校の教科書・教室作成ワー

						クシート
	13:00-15:00 (中学生対象)	2 時 間	12人	中国・中国語(7人) フィリピン・タガログ語 (1人) ネパール・ネパール語 (2人) ロシア・ロシア語(1人) 韓国・韓国語(1人)	教授者 2 人 補助者 1 人	教科内容を題 材にした日本 語学習・高校入 試に向けた作 文指導・面接指 導 教科のドリル・ 日本語の教科 書・教室作成 ワークシート使 用
25	12月24日(土)					
	10:00-12:00 (小学生対象)	2 時 間	8人	中国・中国語(4人) 韓国・韓国語(2人) フィリピン・タガログ語 (2人)	教授者 2 人 補助者 1 人	クリスマスパー ティー
	13:00-15:00 (中学生対象)	2 時 間	12人	中国・中国語(7人) フィリピン・タガログ語 (1人) ネパール・ネパール語 (2人) ロシア・ロシア語(1人) 韓国・韓国語(1人)	教授者 2 人 補助者 1 人	一年間のふり かえり会
26	1月14日(土)					
	10:00-12:00 (小学生対象)	2 時 間	8人	中国・中国語(4人) 韓国・韓国語(2人) フィリピン・タガログ語 (2人)	教授者 2 人	教科内容を題 材にした日本 語学習 学校の教科書・ 教室作成ワー クシート
	13:00-15:00 (中学生対象)	2 時 間	10人	中国・中国語(7人) フィリピン・タガログ語 (1人)	教授者 2 人 補助者 1 人	教科内容を題 材にした日本 語学習・高校入

				ネパール・ネパール語 (2人)		試に向けた作文指導 教科のドリル・日本語の教科書・教室作成ワークシート使用
27	1月28日(土)					
	10:00-12:00 (小学生対象)	2時間	8人	中国・中国語(2人) 韓国・韓国語(2人) フィリピン・タガログ語(2人) ロシア・ロシア語(1人) 韓国・韓国語(1人)	教授者2人 補助者1人	教科内容を題材にした日本語学習 学校の教科書・教室作成ワークシート
	13:00-15:00 (中学生対象)	2時間	12人	中国・中国語(7人) フィリピン・タガログ語(1人) ネパール・ネパール語(2人) ロシア・ロシア語(1人) 韓国・韓国語(1人)	教授者2人 補助者1人	教科内容を題材にした日本語学習・高校入試に向けた作文指導 教科のドリル・日本語の教科書・教室作成ワークシート使用
28	2月4日(土)					
	10:00-12:00 (小学生対象)	2時間	8人	中国・中国語(4人) 韓国・韓国語(2人) フィリピン・タガログ語(2人)	教授者2人 補助者1人	ゲーム大会
	13:00-15:00 (中学生対象)	2時間	10人	中国・中国語(7人) フィリピン・タガログ語(1人) ロシア・ロシア語(1人) 韓国・韓国語(1人)	教授者2人 補助者1人	教科内容を題材にした日本語学習・高校入試に向けた作文指導 教科のドリル・日本語の教科

						書・教室作成 ワークシート使用
29	2月18日(土)					
	10:00-12:00 (小学生対象)	2 時 間	8人	中国・中国語(4人) 韓国・韓国語(2人) フィリピン・タガログ語 (2人)	教授者 2 人 補助者 1 人	教科内容を題 材にした日本 語学習 学校の教科書・ 教室作成ワー クシート
	13:00-15:00 (中学生対象)	2 時 間	10人	中国・中国語(7人) フィリピン・タガログ語 (1人) ロシア・ロシア語(1人) 韓国・韓国語(1人)	教授者 2 人 補助者 1 人	教科内容を題 材にした日本 語学習・高校入 試に向けた作 文指導 教科のドリル・ 日本語の教科 書・教室作成 ワークシート使 用
30	2月25日(土)					
	10:00-12:00 (小学生対象)	2 時 間	8人	中国・中国語(4人) 韓国・韓国語(2人) フィリピン・タガログ語 (2人)	教授者 2 人 補助者 1 人	ゲーム大会
	13:00-15:00 (中学生対象)	2 時 間	10人	中国・中国語(7人) フィリピン・タガログ語 (1人) ロシア・ロシア語(1人) 韓国・韓国語(1人)	教授者 2 人 補助者 1 人	教科内容を題 材にした日本 語学習・高校入 試に向けた作 文指導 教科のドリル・ 日本語の教科 書・教室作成 ワークシート使 用

31	3月3日(土)					
	10:00-12:00 (小学生対象)	2 時 間	8人	中国・中国語(4人) 韓国・韓国語(2人) フィリピン・タガログ語 (2人)	教授者 2 人 補助者 1 人	教科内容を題 材にした日本 語学習 学校の教科書・ 教室作成ワー クシート
	13:00-15:00 (中学生対象)	2 時 間	10人	中国・中国語(7人) フィリピン・タガログ語 (1人) ロシア・ロシア語(1人) 韓国・韓国語(1人)	教授者 2 人	教科内容を題 材にした日本 語学習・高校入 試に向けた作 文指導 教科のドリル・ 日本語の教科 書・教室作成 ワークシート使 用
32	3月10日(土)					
	10:00-12:00 (小学生対象)	2 時 間	8人	中国・中国語(4人) 韓国・韓国語(2人) フィリピン・タガログ語 (2人)	教授者 2 人 補助者 1 人	教科内容を題 材にした日本 語学習 学校の教科書・ 教室作成ワー クシート
	13:00-15:00 (中学生対象)	2 時 間	10人	中国・中国語(7人) フィリピン・タガログ語 (1人) ロシア・ロシア語(1人) 韓国・韓国語(1人)	教授者 2 人 補助者 1 人	修了パーティ ー

(9) 特徴的な授業風景(2～3回分)

2011 年 7 月 2 日(火)～8 月 20 日(土) 全 6 回
活動名:「自分史を作ろう」 対象:中学生 本授業の目標: ①自分の「これまで」、「今」、「これから」について考えたり、話したり、書いたりすることが出来る ②インタビュー活動を通して、質問をしたり答えを聞き取ったりすることが出来る ③インターネットなどを活用して、適切な情報を得ることが出来る ④調べた内容をまとめ、読み手や聞き手に分かりやすく伝えることが出来る
子どもの様子 本活動は、来日間もない、中学生の子どもを対象に行った実践である。活動の流れは、(1)「自分年表」(過去と現在)作り、(2)「未来年表」作り、(3)「大人へのインタビュー」、(4)「将来の夢」を考える、(5)まとめ作業(パワーポイントでスライドを作成)、(6)発表会、であった。 本活動の成果として、子どもが、日本語の使用に対する自信を持てたこと、そして、様々な他者と関わる中で、自分の将来を考えるきっかけを作れたことがあげられる。 例えば、「年表」を作る作業では、支援者と子どもが、ゆっくりと時間をかけて話し合い、生まれてから今までどうだったのか、そして、これからどうなりたいのかを考えていった。その過程で、支援者は、ただ質問をするだけでなく、自身の過去や未来についても考え、様々な個人の情報を交換した。そのことで、互いに新たな発見があり、関係性の深まりにもつながった。また、「インタビュー」活動では、子どもにとって身近な大人に、現在の職業を選択した理由などを質問した。一人の子どもは、インタビュー相手に電話をかけ、日時や場所を設定する場面では、何度も練習し、何度も深呼吸をしてから電話に臨んだ。そして、電話を終えると、「出来た。」と、初めて日本語での電話が出来たことに達成感を抱いている様子だった。また、インタビューを通して、相手の仕事観や人生観を知るきっかけにもなった。一人の子どもは、インタビューの相手が、23 年間 1 つの仕事を続けていることに非常に驚いていた。かれの中には、1 つの仕事を続けるという選択肢はなく、いくつかの仕事を転々とする中で「たくさん技術が持てる。」と考えていたようだった。 この活動を通して子どもが学んだであろうことは、すぐに効果として私たちの目に見える形で現れるものではないだろう。しかし、かれらが、これから成長し、その中で何度も直面する進路選択の場面で、この活動で支援者と話し、考えたことが、何かの役に立つのかもしれない。そして、多様な背景を持つ参加者(支援者も子どもも含めて)がいる地域の教室だからこそ、このような学びを支える可能性を持っていると考えられた。

2011 年 10 月 15 日(土)

活動名:「いろいろな形」(算数)

対象:小学生

本授業の目標:

- ①様々な図形の名前を知る
- ②身近なものの中から、様々な図形を探すことが出来る
- ③身近なものの名前を知る

子どもの様子

本活動は、来日間もない小学2年生に対して行った実践である。この活動は、子どもが、「まる」や「ほし」や「ハート」といった形に興味を示していた様子から、計画された。具体的には、基本的な図形の名前を覚えた上で、教室の中でそれらの図形を探す活動を行った。「三角はどこかな?」「四角はあるかな?」と支援者が投げかけると、子どもは教室中を歩き回って図形を探した。初めは、支援者の質問に対して、見つけた物を指さしながら「これ、これ。」と言うだけだったが、途中からは、自ら紙とペンを持ち、見つけた物の絵を描き込んでいく。数字の中にも「まる」があることや、漢字の中に「四角」があることに気づく。また、新しい形(「円柱」、「半円」、「だ円」など)も見つけ、紙に付け加えていった。

子どもが自ら知りたいと思ったことを、実践のデザインに組み込み、体験の中からことばを学んでいくことが、来日間もない子どもたちの語彙の獲得において重要だと考えられた。

2011年8月27日(土)

小学生の夏の思い出のページ

サポート教室つうしん

しょうがくせい
小学生

2011年9月10日(土)
No. 3

学習 サポート教室 かわさき

「水の科学館」へ行きました！

8月27日(土)に、サポート教室で遠足に行きました。雨がしんばいでしたが、きれいな青ぞらの土曜日でした。集合時間は10時。みんなおくれず集合！多賀さんの運転で、お台場「水の科学館」へ出発です。

「水の科学館」に到着したのは、11時30分。まずは、みんなでお弁当です。科学館のとなりの芝生ひろばで、お弁当やお菓子を食べました。おいしかったです。

さてさて、お弁当の後はいよいよ見学スタートです！水ができるまでの映画を見たり、水の実験をしました。

水鉄砲であそんだり・・・みんないっぱい楽しんでいました。

まいにち飲んだり使ったりしている水だけど、本当は知らないことがいっぱいあるんだなと思いました。

あつ〜い夏の終わりに、ちょっとだけすずしい気持ちになれた遠足でした。



4. 事業に対する評価について

(1) 当初の学習目標の達成状況

先述の通り、本教室の目標は、参加する子どもの、(1)「読む・書く・聞く・話す」の基礎能力の向上、(2)教科の基礎的な知識の理解、(3)将来の見通しを立てる力の向上、の3点であった。

来日間もない子ども(小学生・中学生ともに)については、「自分のことを相手に伝えられる力」と「相手のことが理解出来る力」という、基礎的な日本語能力を育成することが出来た。また、中学生については、支援を行った全員の子どもの希望の高校に進学することが出来た。高校受験を支援する中では、教科学習の中に日本語学習を組み込むことで、教科の基礎的な知識の理解を促すことができ、また、作文指導や面接指導の中では、子どもが将来の自分像に迷いながらも真剣に向き合っていくプロセスを、支援者も共に悩み、励ましていくことで、子どもが「なりたい自分像」を考え、伝える力を育成することが出来た。

(2) 学習者の習得状況

来日間もない子ども(小学生・中学生ともに)については、基礎的な日本語能力を育成することが出来たが、依然として、相手の補助(ゆっくり話す、丁寧に話す、何を話したいか考えながら聞く等)が必要である。

日常会話に不自由しない子ども(小学生・中学生ともに)については、あまり問題が無いように見えるが、文脈に依存しない抽象的な話題について、説明したり、聞き取ったり、記述したり、読み取ったりすることは困難である。

(3) 日本語教室設置運営の効果、成果

本教室を設置運営した効果として、次の3点があげられる。まず、子どもにとっての居場所としての役割を果たしたことである。毎週、支援者と顔を合わせ、お互いのことを知りあう中で、関係性が築かれていった。特に、中学生期の子どもにとっては、悩みを打ち明け、相談できる場にもなっていた。次に、子どもの学習に対する習慣が身に付いたことである。教室に参加し始めた当初は、鞆も筆箱もノートも持ってこなかった子どもが、教室に通う中で、次第に学習に対して意識的になり、自律的に学習を計画することができるようになった。最後に、多様な背景をもった支援者と子どもがともに同じ空間を共有することで、両者にとって新たな学びがあった。たとえば、子どもは、支援者と関わる中で、新たな進路選択の可能性を見出すことができ、支援者は、子どもと関わる中で、自身の日本語教育観を更新することができた。

(4) 地域の関係者との連携による効果、成果 等

今年度は、総合教育センター、区教育担当、夜間学級、近隣小中学校、川崎区子ども支援室、川崎区健康福祉課等と連携し、外国人児童生徒の日本語取得のサポートをしてきた。特記することとして渡日間もないフィリピン人が桜本中学校3年に入学したが、校長との話し合いにより、授業時間に週6時間ほど(火・木・金)を例外的に日本語教室でサポートすることになり、実践することができた(家庭の状況が複雑であったこと、学校からの距離が遠かったことなどが原因で1ヶ月で休止)。また川崎小学校の国際学級に在籍する3名の中国人児童の

サポートも学校からの要請で7月から行ってきた。さらに、夜間中学校に通う4名の生徒には、担任と生徒の状況などの意見交換を行ってきた。また、生活相談に訪れた外国人に子どもがいることが分り、健康福祉課との連携により、教育相談や日本語習得のサポートをおこなってきた。

このように地域との連携の拡がりにより、この教室に繋がるパイプができたことは大きい。しかしながら、外国人児童生徒が増加しているという現状にも関わらず、この教室の認知度はまだ十分ではない。さらに地域の関係機関との連携を強め、外国人児童生徒の日本語習得ネットワークを作っていく必要がある。

(5) 改善点, 今後の課題について

① 現状

- ・子どもの学習内容が、一回ずつ分断されやすい。
- ・子どもの日本語能力の把握が支援者同士で共有されていない。

② 今後の課題

支援者同士の連携が必要である。子どものことばの状況を支援者全員が共有し、実践のデザインについて話し合いの機会をもちながら協働で創っていくことが、子どもたちの学びの連続性を生むと思われる。

③ 今後の活動予定, 展望

本年度は、支援者と子どもの関係性の深まりは見えたと、子ども同士の関係性の深まりについてはあまり見られなかった。子ども同士が協働できる活動を、今後は考えていきたい。

(6) その他参考資料

